

丹波中学校だより 清流の辺

せい りゅう ほとり

平成28年2月9日(火)

No. 17

文責 丹波中学校長 梶原勝由

生徒会役員立会演説会・投票

1月27日(水)、平成28年度生徒会役員立会演説会・投票を行いました。立会演説会では、2人の立候補者が丹波中学校に寄せる想いを熱弁していました。公約は以下の通りです。

選挙公約(会長候補) 一部抜粋

私が会長になったら、次の2つの学校づくりを目指します。
・地域の方々との交流を大切にする学校
・少人数を前向きに考え、魅力あふれる学校
この2つを実行し、必ず達成させます。

選挙公約(副会長候補) 一部要約

私の公約は2つあります。
・あいさつができる学校
・笑顔が絶えない学校
特に、あいさつは人の目を見てあいさつするように呼びかけます。

無効票も出ず、2人は信任されました。あとは有言実行のみです。期待しています。

平成28年度生徒会長 廣瀬 賢君
副会長 船木俊成君



学び方オリエンテーション

1月19日(火)6校時、平成8年度卒業生で村議会議員でもある酒井隆幸さんを講師に学び方オリエンテーションを行いました。テーマは、「将来の自分と丹波山村について考える」でした。酒井隆幸さんは、今から19年前に「創立50周年記念誌～時の音色を奏でて」で次のように夢を語っています。

夢

僕がこの中学校を卒業したのは、人生のほんの一步にすぎないと思っている。今までは、人の世話になって生きてきたが、高校に行ったら自分一人の力で生きていく。また、金



の面で両親に苦勞をかけるが、いつかは両親のためになるようなことをしたい。
僕の夢は警察官になること。もし、この夢が叶わなかったとしても、なんらかの形で歴史に残りたい。日本だけでなく世界にも知れ渡るような人になりたい。そして、いつかは丹波に帰ってきて静かに暮らしたいと思っている。僕のふるさと丹波は残って欲しいと思っている。

平成8年度卒業生 酒井隆幸

酒井隆幸さんの生き様を知り、生徒たちは丹波村民として今後どのように生活していくか、子ども議会で何を提案するか等をじっくり考える機会となりました。

新入生保護者説明会

2月8日(月)、新入生保護者説明会を行いました。次年度は3名が入学する予定です。きっと、大きな希望や夢を抱く反面、不安を持って入学してくると思います。その不安が少しでも解消できるように説明しました。4月6日の入学式には生徒・職員一同心よりお待ちしております。



創立50周年記念誌～時の音色を奏でてより②

沿革の概要を紐解いてみると、丹波山に中学校ができたのは、1947(昭和22)年4月1日に「丹波山中学校」として創立されました。その年の5月5日に開校式を挙行しています。しかし、授業は宝蔵寺や青年会館(現在の公民館の位置)を仮校舎として行っていたようです。この年の6月25日から7月6日まで農繁休暇というものがあり、12日間も学校で授業を受けずに養蚕や農業を手助けしていたようです。この農繁休暇は10月にも12日間あったようです。それだけ人手が必要だったということでしょうか。子どもたちは作業という体験を通して、親や地域の方からいろいろ学んでいたのですね。

1949(昭和24)年5月9日、青年会館から新校舎で授業が始まりました。しかし、校庭はできていなかったため、1950(昭和25)年4月24日から生徒と村民の皆さんで整地作業を行ったそうです。この頃も村民の方の協力や支援があったのです。すごいですね。ときには警察予備隊(現在の自衛隊)も整地作業を行ったという記録もあります。

1953(昭和28)年9月1日、鴨沢分校が独立し、「丹波山中学校」は「丹波中学校」と改称され、丹波山村の中学校は鴨沢中学校と丹波中学校の2校になりました。しかし、鴨沢中学校は1982(昭和57)年3月19日に閉校となりました。

この間の行事を調べてみると、以下のようでした。

- 1947(昭和22)年10月 6日 小中合同運動会
- 1950(昭和25)年10月27日 江ノ島・鎌倉方面修学旅行(1泊2日)
- 12月16日 そば収穫祭
- 1951(昭和26)年 3月 4日 小中合同学芸会(青年会館)
- 1952(昭和27)年 1月20日 少年消防隊結成
- 1954(昭和29)年 5月24日 雲取山遠足(1泊2日)
- 10月18日 沼津・伊豆方面修学旅行(2泊3日)
- 1955(昭和30)年 9月 4日 柔道部創設
- 1957(昭和32)年 6月 3日 大菩薩峠遠足
- 1958(昭和33)年12月10日 第1回強歩大会



校章1947制定

今実施している、小中運動会や全校登山はこの当時から脈々と行われていたようです。すごい歴史です。(「私の好きな一冊」はお休みします)